

FRONTEO、人工知能搭載のコミュニケーションロボット「Kibiro」の“オススの理由をユーザーに提示する技術”について、日本で特許を取得

米ナスダックと東証マザーズに上場し、人工知能を駆使したビッグデータ解析事業を手がける株式会社FRONTEO（本社：東京都港区、代表取締役社長：守本正宏、旧UBIC）は、人工知能搭載のコミュニケーションロボット「Kibiro」がオススの理由をユーザーに提示する技術に関する特許査定謄本を日本特許庁より受領し、特許権を設定登録するための手続きを進めることをお知らせします。

出願番号：特願2016-206390 ※登録番号未付与

特許出願日：2016年10月20日

ハードウェアの性能向上とコスト低下、インターネットの浸透により、私たちの生活は豊かで多様になりました。一方で、社会に流通するデータ量が爆発的に増加した影響により、個人に合った有意な情報に出会うことが難しくなっています。これを解決する手段として「ユーザーの嗜好に合った情報を人工知能が推薦する」技術が各所で開発されています。しかし、従来の技術では「なぜその情報が自分に推薦されたか」をユーザーは知ることがなく、納得感を得ることができないため、推薦がユーザーの行動変化に必ずしも繋がっていませんでした。

今回、FRONTEOが特許を受けた技術は、人工知能搭載のコミュニケーションロボット「Kibiro」が「この情報をあなたにオススした理由」を提示することを可能とするものです。ユーザーは「何故その情報が自分に届けられたか」に関する納得感を得られやすくなり、オススによる行動変化を起こす可能性が高まります。

当社は、人工知能関連技術の研究開発・知的財産獲得をさらに推進することにより、リーガル領域をはじめとして、ヘルスケア・デジタルコミュニケーション・ビジネスインテリジェンスなどの新しい領域で、多様なデータ解析ソリューションへの展開を目指しており、その実現によって、よりよい未来の創造に邁進してまいります。なお、本件における通期業績に与える影響は軽微です。

※特許査定は、特許庁審査官による審査の結果、特許出願された発明に対して特許権付与が承認されることをいいます。特許査定後、出願人が特許料を納付することにより、特許権が設定されたことが特許原簿に登録されます。これにより、登録番号が付与され、特許権が発生します。

■Kibiro について

Kibiro は FRONTEO が開発した日本発の人工知能「KIBIT」搭載のコミュニケーションロボットです。対話やスマートフォンの専用アプリケーションによるチャットによって得たテキスト情報からユーザーの趣味・嗜好を学習し、クラウドネットワークで FRONTEO が独自開発した人工知能「KIBIT」と繋がることで、ユーザーにぴったりのおすすめ情報を提供します。【Kibiro 公式サイト】 <https://www.fronteo-cc.com/kibiro>

■KIBITについて

人工知能「KIBIT」は人工知能関連技術のLandscapingと行動情報科学を組み合わせ、FRONTEO が独自開発した日本発の人工知能エンジンで、人間の心の「機微」(KIBI)と、情報量の単位である「ビット」(BIT)を組み合わせ、「人間の機微を理解する人工知能」を意味しています。テキストから文章の意味を読み取り、人の暗黙知や感覚を学ぶことで、人に代わって、判断や情報の選び方を再現することができます。

【FRONTEO について】 URL: <http://www.fronteo.com/>

株式会社 FRONTEO は、独自開発の人工知能エンジン「KIBIT」により、ビッグデータなどの情報解析を支援するデータ解析企業です。国際訴訟などに必要な電子データの証拠保全と調査・分析を行う e ディスカバリ (電子証拠開示) や、コンピュータフォレンジック調査を支援する企業として 2003 年 8 月に設立。自社開発のデータ解析プラットフォーム「Liti View (リット・アイ・ビュー)」、アジア言語に対応した「Predictive Coding (プレディクティブ・コーディング)」技術などを駆使し、企業に訴訟対策支援を提供しています。同事業で培われ、発展した独自の人工知能関連技術は、専門家の経験や勘などの「暗黙知」を学び、人の思考の解析から、未来の行動の予測を実現。最近ではヘルスケアやビジネス・インテリジェンス、マーケティングなどの領域に活用し、事業の拡大を進めています。2007 年 6 月 26 日東証マザーズ、2013 年 5 月 16 日 NASDAQ 上場。資本金 2,481,621 千円 (2017 年 3 月 31 日現在)。2016 年 7 月 1 日付けで株式会社 UBIC から現社名に変更しております。

〈本件に関するお問合せ先〉

株式会社 FRONTEO 広報担当 池内、西岡

TEL: 03-5463-6380 FAX: 03-5463-6345 Email: pr_contact@fronteo.com